

まじまじドッキリ! トリックアイズ

2

宝の山に目がくらむ

きたおかあきよし
北岡明佳

(立命館大学教授)

「宝物」というと正倉院を連想しますが、「宝」というと海賊が狙う宝石や貴金属でしょうか。その他、骨董品は「お宝」と呼ばれたりします。いずれにしても、宝とは希少なもので、しかも人々が価値を感じるもののこと。

今月の作品「宝の山に目がくらむ」は、二種類の「動く錯視」と一種類の「形の錯視」が使われており、錯視の宝の山といえます。自然界にほとんど錯視が見られないのは、錯視の起こる条件が非常に限られているため。この作品は、その希少なところを突いているのですが、果たしてその価値は？